

# 長谷川農園

(新潟県五泉市)

～作業効率が向上し、経営規模が拡大～



五泉市特産のおいしいさといもです



さといもの分離作業



きゅうり、トマト収穫後の株除去作業

## 経緯

- 大学で福祉を学び、卒業後福祉施設で生活相談員をしていたところ、父親の勧めで平成27年に就農。
- 営農を始めるに当たり、これまで学んできた福祉を農業分野に活かしたいと考え、就農当初から農福連携に取り組んでいる。

## 取組

- 水稲10ha、露地野菜250a(そのうち五泉市特産のさといも150a)のほかハウス20aできゅうり、トマト及びアスパラガス等を栽培。
- 農産物加工品として、野菜の漬物を製造し、五泉市内のスーパーや直売所において通年で販売を行っている。
- 長谷川農園では、障がい者1名を通年雇用しており、ハウス野菜の管理を任せている。
- 作業形態は、週5日、4時間勤務。
- さといもの収穫期には、地域の障がい者1名を臨時雇用している。
- 障がい者が作業するに当たり、雇用当初は理解しやすいように丁寧に教えたが、現在は指示をしなくても自ら考え作業を行っている。
- 農福連携に取り組んだ成果として、障がい者にハウス管理を任せることにより作業効率が上がり、経営規模を拡大することが出来た。

## 今後の展望と課題

- 令和3年、新たにアスパラガス栽培用のハウスを3棟建設予定。
- 障がい者雇用について、増員の予定は無いが、現在の1名の通年雇用を継続していく。
- 農園の所在する清瀬地域においても農業者の高齢化が進んでおり、農道・水路の維持への不安がある。この地域を守るために法人化を目指していく。